

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和5年3月30日(2023.3.30)

【公開番号】特開2022-80104(P2022-80104A)

【公開日】令和4年5月27日(2022.5.27)

【年通号数】公開公報(特許)2022-094

【出願番号】特願2020-191092(P2020-191092)

【国際特許分類】

H 02 J 7/00(2006.01)

10

B 60 R 16/02(2006.01)

【F I】

H 02 J 7/00 P

B 60 R 16/02 6 4 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年3月22日(2023.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

マイコン34は、第1スイッチ20のオンへの切替えを指示しているにも関わらず、負荷電流値が電流閾値以下である場合、オフ故障の発生を報知する。具体的には、マイコン34は、オフ故障の発生を示す報知信号を出力することによって、オフ故障を報知する。マイコン34は、第1スイッチ20のオフへの切替えを指示しているにも関わらず、負荷電流値が電流閾値を超えている場合、オン故障の発生を報知する。具体的には、マイコン34は、オン故障の発生を示す報知信号を出力することによって、オン故障を報知する。

【手続補正2】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0089

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0089】

制御部45は、負荷電流値が電流閾値以下であると判定した場合(S21: NO)、又は、ステップS23を実行した後、第1給電制御処理を終了する。制御部45は、第1給電制御処理を終了した後、再び、第1給電制御処理を実行する。前述したように、フラグの値を1に変更された場合、スイッチ制御処理において、回路スイッチ30のオフへの切替えが指示される。

【手続補正3】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0092

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0092】

制御部45は、第2駆動回路33に第2スイッチ31のオンへの切替えを指示した後、第2負荷Fの動作を停止させるか否かを判定する。第2負荷Fを示す停止信号が信号入力部42に入力された場合、制御部45は第2負荷Fの動作を停止させると判定する。第2負荷Fを示す停止信号が信号入力部42に入力されていない場合、制御部45は第2負荷

50

F の動作を停止させないと判定する。制御部 4 5 は、第 2 負荷 F の動作を停止させないと判定した場合、第 2 負荷 F を示す停止信号が信号入力部 4 2 に入力されるまで待機する。

10

20

30

40

50